

# 岩手ホスピスの会通信



岩手ホスピスの会（代表：川守田裕司 事務局長：吉島美樹子）

会 員 数／会員数 711 名（2013.6.21 現在）

編 集 発 行／「岩手ホスピスの会」事務局 〒020-0883 岩手県盛岡市志家町 13-31 川守田方

TEL：090-2604-7918 FAX：019-653-6447

郵便振替口座／02250-1-60580 E-mail／hospice@eins.rnac.ne.jp

Homepage（岩手ホスピスの会通信）／http://hospice.sakura.ne.jp/

No. 45  
2013年7月

## 被災地から想いを込めタオル帽子のプレゼント

6月上旬。「今日は暑いね～」発送作業の会場に、いつも帽子を作ってくくださるボランティアの方々が予定の時刻よりも早くから次々と集まって来ました。

30名ほどのボランティアの平均年齢は、若くみても75歳。毎日、自宅で帽子を作成し週末にはタオルなどの仕分け作業、行き帰りにはタオルや帽子がパンパンに詰まった大きな荷物を両手に抱えバスを乗り継ぎます。このひた向きの想いと支援にいつも胸が熱くなります。

きっと全国で闘病と向き合う患者さんやご家族も、見えない不安や悩みを抱える中、このタオル帽子を手にした時、遠い見知らぬ地の会った事もない誰かのエールを感じて下さることを願い汗を流した一日でした。

今回の、申し込み病院は60件、3,600個の帽子をプレゼントしました。

タオル帽子活動を始めて早いものですが6年がたちます。

全国のがん診療拠点病院へのタオル帽子発送

震災後は、被災地の方々も巻き込んで、帽子ボランティア生きがいがづくり「シャポー IWATE」に取り組める事も楽しみのひとつとなっています。今回の発送作業には仮設住宅で帽子づくりに取り組んでいる方々も駆けつけて頂き一緒に作業しました。震災でご家族や家財をなくした、心の痛みや苦しみははかりしれるものではありませんが、共に歩み時を過ごしたいと強く思います。



### ● タオル帽子プレゼントを受け取って頂いた病院一覧 ●

2013年6月（1件50～100個程度）57件 総数3,500個

北海道：北海道がんセンター 岩手県：岩手医科大学附属病院、県立胆沢病院 青森県：青森労災病院、三沢市立病院、八戸市立市民病院、弘前大学医学部附属病院 秋田県：仙北組合総合病院 宮城県：東北労災病院、大崎市民病院  
山形県：日本海総合病院、山形県立中央病院 福島県：坪井病院 群馬県：伊勢佐木市民病院、西群馬病院、群馬大学医学部附属病院、公立藤岡総合病院 千葉県：千葉県がんセンター、船橋市立医療センター、国保松戸市立病院  
東京都：武蔵野赤十字病院 長野県：長野市民病院、諏訪赤十字病院、飯田市立病院 石川県：金沢医科大学病院、金沢医療センター 静岡県：藤枝市立総合病院 愛知県：愛知県がんセンター中央病院、名古屋医療センター、安城更生病院  
岐阜県：岐阜大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター 三重県：三重大学医学部附属病院、鈴鹿中央総合病院  
滋賀県：市立長浜病院 大阪府：大阪医科大学附属病院、大阪大学医学部附属病院 兵庫県：兵庫県立柏原病院  
鳥取県：鳥取市立病院 岡山県：岡山赤十字病院 島根県：浜田医療センター 広島県：広島市民病院、安佐市民病院、福山市民病院 香川県：香川大学医学部附属病院、香川労災病院 愛媛県：愛媛県立中央病院 福岡県：産業医科大学病院、久留米大学病院 長崎県：長崎市立市民病院 佐賀県：佐賀県立病院好生館 熊本県：熊本大学医学部附属病院  
大分県：大分大学医学部附属病院 宮崎県：県立宮崎病院 鹿児島県：鹿児島県立薩南病院 沖縄県：那覇市立病院、琉球大学医学部附属病院

# 各地からのタオル帽子活動レポート④

～宮城県登米市「えがお」タオル帽子工房&相談室より～

## タオル帽子を提供しました!!



何枚あるか10枚ずつ  
並べてみました。  
すごいです!  
100枚もあつたんです。



袋詰め作業中!

### 〈タオル帽子の提供〉

「えがお」タオル帽子倶楽部（ボランティア会）は、「無理せず、楽しく、できることを…」をモットーとし、必要とする誰かのために「タオル帽子」が届くようにと手づくりし、人と人とのつながりを大切にした“志と行動”の市民団体です。タオル帽子の提供は、登米市民病院外科病棟・化学療法室を通じてがん患者様へ、その他ケアマネージャーを通じて、在宅で過ごされているがん患者様個人へ約100個提供。市内障害者・虚弱高齢者の通所施設3ヶ所へクリスマスプレゼントとして160個提供。登米市社会福祉協議会様へ、障害者・虚弱高齢者の通所施設で「洗髪介助」等に使用してほしいと、25年3月に105個の提供をしました。たくさん作りましたね!! 使っていただけると嬉しいです!

### 〈タオル帽子が3種類に増えました〉

24年12月末から、3種類作っています。①岩手ホスピスの会タオル帽子 ②医療用ケアタオル帽子 ③すきん型帽子です。  
※使い方は色々です。家事・農作業・寒い時などにどうぞ!!  
みんなでかぶりましょうね!



### 〈看板をつくっていただきました〉

登米市民病院様提供です。  
「工房の場所がわかるように…」と頂戴しました。  
有難うございました。

### 〈すきん型帽子です〉

“風が吹いても脱げない”が売りです。バンタンも良いですが、首の後ろも隠れ、おしゃれですよ。一枚いかがですか?



小野寺幸枝さん

「えがお」  
タオル帽子工房 & 相談室  
小野寺幸枝

〒987-0511  
宮城県登米市迫町佐沼字  
中江 4-8-7 日野ビル  
とめっこ館2F(裏口階段利用)  
FAX・TEL 0220-22-8241





# ホスピスセミナー開催

岩手ホスピスの会主催のホスピスセミナーが5月18日盛岡市総合福祉センターで開催され、ホスピス、緩和ケアって何？—岩手医科大学附属病院にホスピスを—をテーマに、岩手医科大学附属病院看護部ががん性疼痛看護認定看護師・菅野綾子さんに講演していただきました。

菅野さんは、2000年より岩手医科大学附属病院・高度救命救急センター勤務、2008年神奈川県立保健福祉大学実践教育センターで、がん性疼痛看護認定看護師教育課程を受講、2009年がん性疼痛看護認定看護師認定審査に合格されました。2011年より岩手医科大学附属病院腫瘍センター・緩和ケアチームの専従看護師として勤務しております。



菅野綾子さん

当日は参加者との意見交換会も行い、皆でホスピス・緩和ケアの重要性について話し合いました。また、ホスピスは必ずしも最後の場所ではないということも強調されました。

- ①緩和ケアはがん病変への治療と並行し早期より行われるケア
- ②緩和ケアの目標は患者さん・ご家族にとってできる限り最高のQOLを実現すること
- ③緩和ケアチーム、緩和ケア病棟ともに増加傾向にある
- ④緩和ケア病棟は医療よりむしろ生活に視点を置いて考えられた施設であり、亡くなる人が入院するところではない
- ⑤緩和ケアはどこでもできる
- ⑥症状コントロールをしながら、誰とどこで、どんな風に過ごしたいかが大切であるなどがポイントとして話されました。

## セミナーに参加された方々の感想から抜粋

※今日の講演で、若い方が苦しみを乗り越えて人生を終えたことを知り勇気づけられました。毎日を大切に過ごし、最後は満足して死にたいと考えております。そのためにも緩和ケアの充実・拡充が望まれると感じました。(60代、男性)

※わかりやすく具体的にお話いただいて緩和ケアについて理解できました。また、個人的にお話を聞いていただいて心がほっとしました。これから自分が何をすべきかがわかりました。もっともっと世に緩和ケアについて広く広まればよいと思います。(50代、女性)

※医療の進化や人的仕組みの構成状況をお聞きして、患者を取り巻く多様な支援方法が少し見えてきて本当にうれしく感謝しております。患者はもとより家人もたくさんのお情報を知って対応策をとれるようにしておきたいと思います。(70代、女性)



※ホスピスってどんなところか気になっていました。今日聞いてよくわかりました。私もホスピスに入る時が来ると思う。今のところ少し痛みがあるけど楽しいことに気を入れて生活しています。(60代、女性)

# 岩手県内各ホスピス現況 (2013年6月現在)

(岩手ホスピスの会調べ 詳細は各病院に直接お問合せ下さい)

	孝仁病院 緩和ケア病棟	盛岡赤十字病院 緩和ケア病棟	岩手県立磐井病院 緩和ケア病棟	岩手県立中部病院 緩和ケア病棟	美山病院 緩和ケア病棟
住 所	盛岡市中太田泉田 28	盛岡市三本柳 6 地割 1 番地 1	一関市狐禅寺字大平 17 番地	北上市村崎野 17 地割 10 番地	奥州市水沢区羽田町 字水無沢 495-2
電 話	019-656-2888 医療福祉相談室	019-637-3111 (代表) 緩和ケア相談室 内線 338 川村・阿部	0191-23-3452	0197-71-1511	0197-24-2141
病 床 数	10 床	22 床 (全室個室)	24 床 (個室 20、2 床室 2)	24 床 (個室 18、2 床室 3)	20 床 (全室個室)
ベ ッ ド	無料 8 室 有料 2 室	無料 12 室 有料 10 室	無料 17 室 有料 7 室	無料 14 室 有料 10 室	無料 20 室
有料室料金	1 日 3,150 円	1 日 5,250 円・ 10,500 円	1 日 3,050～ 6,200 円	1 日 3,150～ 12,810 円	有料室なし
看 護 師 数	15 名	18 名	18 名	17 名 + 補助 2 名	17 名 + ケースワーカー 2 名
ホスピス医	臼木豊先生、 米山幸宏先生	旭博史先生、 畠山元先生	平野拓司先生	関根義人先生、 星野彰先生、 平賀一陽先生	菊池俊弘先生 及川司先生
入院審査を受けるには	医療福祉相談室にご 相談ください。 月～土曜 8:30～ 17:15 (担当 湊)	緩和ケア外来を受診	緩和ケア支援セン ターにお問合せ下さ い。 0191-23-3452	0197-71-1511 (入院相談他) がん相談支援室 相談時間: 平日 9:00～16:00	入院相談(担当:ケ ースワーカー) 後面談 入院検討会(医師、 薬剤師、栄養士、看護 師、理学療法士で構成)
審 査 日	随時	随時	随時	随時 (入院依頼があった その日に即日対応)	随時 (その後ベッドが空 くまで待機)
ホスピス入院 平均待機者人数	院内 2～3 名 院外 2～3 名	0	1～2 名	4～5 名	0
ホスピス入院 平均待機期間	約 2 週間 (時期により変動あり) 重症者優先	外来受診後、長くて 1 週間	なし	待機期間は同院一般 病棟や近隣の病院で 対応	なし
利用者内訳	盛岡市周辺がほとん ど (8 割以上)	盛岡市周辺の方がほ とんど	一関市周辺や宮城県 北の方がほとんど	花巻北上周辺の方が 8 割以上。その他は 水沢、盛岡南部等	奥州市周辺の方がほ とんど
緩和ケア外来	診察日: 月～水・金・土 8:30～17:15 木 8:30～12:30 担当医:臼木豊先生・ 米山幸宏先生	診察日: 月・水、要予約 担当医:旭博史先生	診察日: 月～金、要予約 担当医: 平野拓司先生	診察日: 月・金の午前、 要予約 担当医: 星野彰先生	診察日: 火・木・土 担当医: 菊池俊弘先生
ホスピスボラ ンティアの 人数と活動	登録者 24 名 実働 7～8 名 ホスピスボランティ ア募集中 019-656-2888 4 階病棟藤原まで 都合のよい時間でよ いのでぜひ!	病院ボランティア登 録者 17 名 うち 10 名がホスピ スで活動中。 病院ボランティア募 集中	ボランティアコー ディネーター 2 名、 ボランティア 5 名 活動:ティータイム、 季節の行事	H23 年 6 月～ボラ ンティア活動開始 40 名登録 定期的に研修を行っ ている	現在登録者 20 名で 調整中。ホスピスボ ランティアを募集中
遺族会の名 称と連絡先	ひだまりの会 湊、藤原 (019-656-2888) 院外の方も参加可能 年 1 回開催	設置検討中	なし	偲ぶ会 緩和ケア病棟 (0197-71-1511) 当院緩和ケア病棟で お亡くなりになった 方のご遺族の方のみ これまでに 3 回開催	しちぢき 七夕の会 緩和ケア病棟 (0197-24-2141) 当院緩和ケア病棟で お亡くなりになった 方のご遺族の方のみ これまでに 2 回開催

# 岩手ホスピスの会とタオル帽子ボランティアへの メッセージ (2013年4月~6月)



当会のタオル帽子を受け取った全国の皆さんから当会に寄せられたメッセージの一部をご紹介します。2008年6月からスタートしたタオル帽子発送はこれまで45,000個に上っています。帽子を作るボランティアの皆さんに深く感謝申し上げます。



全国のがん患者さんへタオル帽子を発送

◆こんにちは。以前お電話いたしました。帽子ありがとうございます。うれしくて涙が出そうでした。大切に使用させていただきます。皆様どうぞお体に気をつけてお過ごしください。(熊本大学病院)

◆このたびは岩手ホスピスの会の心温まるタオル帽子をいただき誠にありがとうございます。私の友人もこのたび入院して帽子のお世話になりました。どんなのでも頭が隠ればよいのかと思いきや、寝たときあたらぬ、適度に風が入る、きつくなくゆるくなく、本人もとても感謝しておりました。これまでもたくさんのお心をいただき感謝にたえません。(福島県郡山市坪井病院)

◆熊本県八代市の拠点病院に入院中の者ですが、北国の方が作るためか、南国熊本のがん患者には厚手過ぎてオールシーズン着用というわけにはいかないようです。ぜひ南国向け、薄手のものを今度作ってください。(八代市)

◆私は昨年子宮頸がんを患い、抗がん剤で髪の毛が抜け大変な思いをしていたところ、ボランティアの皆さんが作ってくれた、プーさんのタオルでできた帽子と出会い、とてもうれしさと感謝とさまざまな思いが脳をよぎり涙ぐんでしまいました。本当みなさんの温かい心に感謝です♡これからがんばって抗がん剤やります!!(千葉県木更津市)

◆昨年10月に乳がんが見つかり、1月より抗がん剤の治療を始めた44歳の主婦です。ふと立ち寄った病院のがんサロンで、タオルのふかふか帽子をいただきました。毎晩すっぴりかぶって就寝しています。とっても温かいです。辛い治療も後2回。それが終われば髪の毛も生えてきます。あとちょっと!!頑張ります。皆さんの優しい気持ちを胸に、頑張っって乗り切ります。(岐阜市)

## フェイスタオルご寄付のお願い

会員の皆様をお願い申し上げます。ボランティアさんがタオル帽子を作るためのフェイスタオルが不足しております。できましたらご寄付のご協力をお願いいたします。なお、恐縮ですが患者さんのためにできるだけカラフルな柄物をお願いいたします。

送付先：020-0883 岩手県盛岡市志家町 13-31 岩手ホスピスの会宛





# 福島県南相馬市仮設住宅訪問

5月5日午後から福島県南相馬市鹿島区寺内第二仮設住宅(40戸)を訪問し、岩手ホスピスの会3名で、集まってくれた約20名の方たちに、血圧チェックと健康相談、傾聴、コーヒーサービス、タオル帽子配布を行いました。

同仮設住宅の入居者の平均年齢は70~80歳で、多くの子供さんやお孫さんたちは他県に移住して、もう福島には戻らない、と言っているそうです。皆さん意外に明るく、楽しくお話ししましたが、原発が爆発して命からがら逃げてきた話になると、「さきの戦争の時より恐ろしかった。そして今は放射能に汚染された家にも戻れず、この仮設住宅で死ぬのを待つだけだ」とおっしゃって涙ぐむ方もいらっしゃいました。

皆さん、話し出すと止まらなくて、「こうやって話聞いてくれでありがたえ。おら、帰ったって一人で狭い部屋にじっと座ってるだけだ~」とおっしゃってくれて、こんな私たちでも少しは役に立っているのかと思うとうれしくなりました。

岩手から車で片道4時間の遠い道のりですが、ぜひまたお伺いしたいと思っています。

当日、みなさん血圧手帳を持参していた事に驚きました。聞けば、同市社会福祉協議会では、仮設の方々への血圧計・血圧手帳の配



血圧チェック

布、週1回、集会場でのサロンで計測で気になる方は医療機関へつなげるようにしているそうです。きめ細かなサポートに感心しました。

岩手では、集会場のない仮設も多くこのようなサポートの現実に向け見習いたいと痛感しました。

最近気付いたことですが、原発事故と水俣病は非常に似た経過をたどっていると思います。水俣でも、住民に被害が出てても会社は水銀を海に流し続け、国も県もわかっていながら何もしてくれなかったそうです。(海への放射能汚染水放出)、水銀に汚された海をきれいな海に戻すための工事の受注、利権の争い(瓦礫処理、除染)、患者さんと患者でない人との争い、いがみ合い(放射能汚染から逃げる人と逃げたくても逃げられない人との確執)...etc. そのような中で、水俣病問題では、「患者さんから学ぶ」姿勢を徹底して貫いた原田正純先生というお医者様がいらっしゃいました(故人)。この姿勢はどの医学分野でも大切なことですが、殊に水銀や放射線など環境汚染物質については、この「患者さん(住民)が先生」という姿勢なしに、医師がその健康影響について語る資格はないと思います、というつぶやきをツイッターで見ました。本当にその通りだと思います。私たちは医者ではありませんが、この姿勢を決して忘れないように活動して行きたいと思います。



タオル帽子配布

# 「子供たちの甲状腺検査実施を求める要望書」提出 その後

※昨年11月21日に、三陸の海を放射能から守る岩手の会、子供たちの未来を考えよう平泉の会、当会ほか県内外23団体で岩手県に「岩手県南3市町の子供たちの甲状腺検査実施を求める要望書」を岩手県に提出しました。

※その回答が昨年12月19日付で県から送られてきましたが、甲状腺検査については、国の対照検査（青森・山梨・長崎県）結果を踏まえて対応したい」という回答でした。

※先日岩手県保健福祉部医療推進課にその後の経過を聞いたところ、「その件につきましては環境省が今年3月29日付で調査結果を報道発表しており、<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=16520> 対照検査の結果、福島県と他県とで特異的な差が見られない、ということで、近々有識者会議を開催して検討する予定ですが、開催日程は未定です、という答えでした。



県に子供たちの甲状腺検査を求める要望書提出 (2012.11.21)

※ところがまさにその日の東京新聞に以下の記事が掲載され、放射線量の高い岩手県南の子供たちへの影響について改めて大変心配しているところです。また、6月7日には茨城県、千葉県北西部、埼玉県南東部にある36の市民団体からなる「放射能から子供を守ろう関東ネット」が、同地域に住む子供の健康調査を国に求める請願書と約7万3千筆の署名を衆参両院20人の国会議員に提出したそうです。岩手でも多くの賛同団体を募り、再々度県に子供たちの健康検査の要望を提出したいと思えます。

## 甲状腺がん「確定」12人 福島の18歳以下、9人増

東京電力福島第一原発事故による放射線の影響を調べている福島県の県民健康管理調査で、十八歳以下で甲状腺がんの診断が「確定」した人が九人増え十二人に、「がんの疑い」は十五人になった。

甲状腺検査は、震災当時十八歳以下の人口約三十六万人が対象。一次検査でしこりの大きさなどを調べ、軽い方から「A1」「A2」「B」「C」と判定。BとCが二次検査を受ける。

二〇一一年度は、一次検査が確定した約四万人のうち、二次検査の対象となったのは二百五人。うち甲状腺がんの診断確定は七人、疑いが四人。ほかに一人が手術を受けたが、良性と分かった。

一二年度は、一次検査が確定した約十三万四千人のうち、二次検査の対象となったのは九百三十五人、うち診断確定は五人、疑いが十一人。

これまで調査主体の福島県立医大は、チェルノブイリ原発事故によるがんが見つかったのが、事故の四～五年後以降だったとして「放射線の影響は考えられない」と説明している。

2013年6月5日 東京新聞記事

岩手県対がん協会さん、県内各がん患者会さん、県内の医療者の方々も、がん検診の重要性を強調されています。被ばくした可能性のある岩手の子供も、皆で力を合わせて進めましょう!!



# 地域に広がる緩和ケア ① ～

今まで3年に渡り、県内の緩和ケア病棟の様子を紹介してきました。現在、緩和ケアは病棟・緩和ケア外来・在宅ホスピスとケアを受けられる場所も広がっています。どのような場所で、どんなケアが受けられるのかを紹介します。

北上市・訪問診療専門、ホームケアクリニック えん 看護師 高橋 美保

## 「家に帰ったら何がしたいですか？」

退院前にお話を聴くと、「まずは帰ること」だったり「思いつかない」と不安そうなお顔の患者さんが多いです。それでも退院前から病院の先生や看護師さん、ケースワーカーさん、在宅側のケアマネージャーさんや看護師さん、その他のサービス担当者さん達と話し合いをもち、準備をしておうちに帰ってみると驚く程素敵な笑顔に出会います。毎日お孫さんの宿題を見ってくれるおじいちゃん、車いすで田んぼの水の見回りをする方、ベッドの中から家事のコツを教えてくれる方。一人暮らしで寝たきりになっても家での時間を過ごされている方。病気のつらさはあるものの、住み慣れた環境が、役割が「生きるちから」を引き出してくれているようです。

私は現在、家で療養される方々のところへ医師と一緒に訪問する訪問診療専門のクリニック「ホームケアクリニックえん」で看護師をしております。

### ホームケアクリニック えん

〒024-0031 岩手県北上市青柳町2丁目5-15  
tel: 0197-61-5160 fax: 0197-61-5161

病気を抱えていても、ひとそれぞれ大事にすることは違います。正直、家で療養することは病気のこと、介護のこと、生活のこと、様々な大変なことがあります。その中でそれぞれが思っている大事にしたいことを、地域の専門職や周りの方々と一緒にできることを探していければと考えています。



高橋美保さん



ホームケアクリニック えん・スタッフの皆さん

## 美山病院ホスピス(緩和ケア病棟) 見学会

2011年に開設した奥州市美山病院緩和ケア病棟の見学会を行います。参加希望の方はご連絡お願いいたします。

日時: 2013年7月27日(土) 13:00～

場所: 12:50 美山病院1Fロビー集合

交通: 基本的に現地集合、現地解散となります。

連絡先: 岩手ホスピスの会 電話 090-2604-7918



社団医療法人敬愛会 美山病院緩和ケア病棟:  
岩手県奥州市水沢区羽田町字水無沢 495-2  
電話 0197-24-2141

☆緩和ケア病床 20床 / 総病床 248床

緩和ケア病棟開設: 2011年4月



# 栄養講座レシピ がん患者さんのための栄養講座 パート 13

岩手県立胆沢病院 栄養サポートチーム 管理栄養士 蛇口 真理子

暑い季節になりましたね。最近は毎年、「今年は暑いね～」と言っているような気がします。

夏は麺類を家で食べることも多いと思いますが、今回は目先を少し変えた「冷やしすいとん」を紹介します（\*^\_^\*）。



1人前 約 340 kcal

## 冷やしすいとん

材料 (1人分)	分量	
小麦粉	50g	
水	適量	
スライスハム	2枚	
レタス	1枚半	
きゅうり	1/4本	
トマト	1/6個	
A {	醤油・酢	各 15g
	砂糖	4g
	塩	0.5g
	鶏がらスープ素	1g
	水	50g
	ごま油	1g

### 作り方

- ① 分量の小麦粉を水で耳たぶくらいの固さにこねる。
- ② 湯を沸かし、①をすいとん状にし、茹で上げて、水でしめておく。
- ③ ハム・きゅうりはせん切り、レタスは1口大にちぎっておく。トマトはくし切りにしておく。
- ④ Aの酢以外の調味料を鍋に入れ、軽く沸騰させる。最後に酢を入れ、冷蔵庫で冷やしておく。
- ⑤ ②を器に入れ、③の具をのせる。最後に④の調味液をかけて完成。

※すいとんは、水でしめると固くなるので、気持ち柔らかかめにこねると食べやすいです。

## 《胆沢病院 栄養サポートチーム 管理栄養士 活動日誌①》

胆沢病院へ転勤をして、早2ヶ月。新しい職場にも慣れてきました。私は胆沢病院では栄養サポートチーム専従の栄養士をしています。「栄養サポートチーム」は、医師・看護師・栄養士・薬剤師等々がチームになり、患者さんの栄養改善を行うチームです。この栄養サポートチームは院内の色々なチームとも連携をしながら活動しています。その連携しているチームのひとつが緩和ケアチームです。胆沢病院は緩和ケア病棟・緩和ケア病床はありませんが、緩和ケア認定看護師の及川麻希さんを中心に多職種が情報共有しながら患者さんを支えていけるよう取り組んでいます。患者さんで食欲がない患者さんがいると及川さんが栄養士に連絡をくれます。その後、患者さんを訪問し、お話を伺いながら、希望に添った食事を準備します。先日は、「チキンラーメン」の希望があり提供しました。病院で「チキンラーメン!？」と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、この患者さんは食欲がなく殆ど食べられない日が続いていました。しかし、「チキンラーメン」を見て、「今日は気分がいい」と、とびつきりの笑顔。



及川麻希さん

栄養も大切ですが、患者さんが「今日はいい日だ」と気持ちが元気になることもとても大切です。一つ一つは小さいことですが、院内スタッフで協力し、患者さんを支えていきたいと思っています。

# がん患者さんのための栄養公開講座

## ～緩和ケアと食事、おいしく食べることを支えるには～

近年、在宅ホスピスや在宅療養をされる方も増えています。  
今回は在宅療養されている患者さん・ご家族が手軽にでき、食事が楽しみになるメニューや工夫を紹介する予定です。

患者さんを支えるご家族にとって、食事は身近にできるケアの一つでもあります。しかし、患者さんにとって、栄養や食べる量を気にしすぎると食事が楽しみから苦痛になってしまいます。

食欲がない患者さんにとって食べることは大変なことです。ご家族の思いとしては当たり前なのですが、「食べて元気になって欲しい」と考えてしまいがちです。患者さんが少量でも「おいしい」と感じて食べるのが何よりです。

ご家族が患者さんの思いを知り、無理のないケアが大切であると考えています。そして、ご家族が自分のこともケアしながら患者さんと大事な時間を過ごして頂ける、きっかけとなるようなお話をできればと思っています。

暑い中ですが、どうぞ気軽にご参加くださいませ。



蛇口真理子さん

**日時：2013年8月31日(土) 午後1:30～2:30**

**場所：盛岡市若園町・総合福祉センター 参加費：無料**

**講師：岩手県立胆沢病院・管理栄養士 蛇口真理子**

## 「岩手ホスピスの会」がん相談ホットライン



開設日	毎月第2土曜日 午後1時30分～4時(月により変更あり) 相談無料
場所	盛岡市若園町総合福祉センター内 タオル帽子倶楽部会場(月により変更あり)
内容	電話相談：がん全般についての相談に対応致します。 直接面談：上記会場に来院して頂き対応 ※事前にお電話いただければ、相談内容に合ったスタッフが対応致します。
問合せ	<b>岩手ホスピスの会 090-2604-7918</b>

## 帯津良一先生講演会「ときめいて昨日と同じように今日を生きる」

日時：2013年7月21日(日) 13:30～15:00(講演)  
15:10～15:50(気孔体験「時空」)

場所：岩手県盛岡市・盛岡八幡宮参集殿 参加費：前売2,500円/当日3,000円  
お問い合わせ オネット企画 TEL/FAX 019-698-1216

なんでも医療相談室 倅 TEL 019-647-9333 携帯 080-1849-4761



## 書籍紹介

# 「看取り先生の遺言 がんでも安らかな最期を迎えるために」



- 出版社：文藝春秋      ● 発売日：2013年1月23日
- 著者：奥野修司      ● 定価：1,470円

「看取り先生」とは、仙台でがん患者さんを中心に、在宅緩和ケアの活動をしていた岡部健先生のことです。2,000人以上の患者さんを看取ってきた岡部先生自身もがんに罹られ、ケアする立場から、受ける立場になり、昨年9月に逝去しました。本書の中にあつた「自分に胃がんが見つかって死を覚悟せざるを得なかった時、いざ死んでいくにあたって、どのように「闇」のほうに降りていけばいいのか、その"道しるべ"がないことに愕然とした」という岡部先生の言葉に心が揺さぶられました。長年、在宅緩和ケアに携わってきた岡部先生が自身ががんになり考えた緩和ケアのこと、日本人にとっての死の迎え方をメッセージとして残してくれた一冊です。ぜひ、ご覧になってみてください。



## 「生きることを支える関わりとは…」

### ～日本死の臨床研究会東北支部会開催 石垣靖子先生の講演会より～

5月25日、秋田市民交流プラザにて、日本死の臨床研究会東北支部会が開催されました。当日は、会員の他、一般参加の市民も合わせて、数百名が参加しました。

特別講演の講師は、北海道医療大学客員教授の石垣靖子さんでした。石垣さんは看護師として、長年、看護師として緩和ケアに携わってこられた方です。

講演は、「生きることを、ケアすること～がん患者さんに寄り添って思うこと～」と題し、石垣さんが自身の家族の病気を通し、「一般的には、自分の死を一人称の死・家族（歴史を共にしてきた人）の死を二人称の死・仕事（医療者など）で体験する死を三人称の死と区分している。しかし、大切な人を失うことは私自身の人生を大きく変えるほどつらいものであり、一人称の死とも感じている」とお話されました。

患者さんは病気ですら思いをされていることも多いと思いますが、そのそばにいるご家族や友人も、大切な人を失ってしまうつらさを抱えなが

ら、患者さんのそばにいらっしゃるのです。大切な人を失う経験をするのは大変につらいことであり、患者さんだけではなく、そのご家族にも寄り添う思いを持ち、関わっていくことが必要だと学びました。



石垣靖子先生

石垣先生は「誰かが共にいてくれることが大切」と講演の最後に語り、「生きることを支える関わりとは何か」を今までの看護の経験や、自身の家族の病気を通し、大切なメッセージを伝えて下さいました。

また、このような機会がありましたら、ホスピスの会の通信でお知らせをします。

これからも、「支え、寄り添い合う緩和ケア」について、皆さんで考えていければいいなと思っています。

# タオル帽子を作りたい方へ



※タオル帽子を作りたい方へ型紙をお譲りしています。

※型紙・見本の帽子1個(送料込み1,000円)

※申し込み方法：はがきかメールでお願いします。メールアドレス：[hospice@eins.rnac.ne.jp](mailto:hospice@eins.rnac.ne.jp)

はがき：〒031-0823 青森県八戸市湊高台6-4-22 吉島方「岩手ホスピスの会」

## これからのタオル帽子講習会日程

7月13日：タオル帽子講習会・倶楽部

8月10日：タオル帽子講習会・倶楽部

9月14日：タオル帽子講習会・倶楽部

場所：盛岡市総合福祉センター 時間：13時30分～ 問い合わせ先：080-1658-1762

※型紙のコピーはご遠慮願います。型紙の必要な方は当会へお問い合わせください。

## \*\*\*\*\* 岩手ホスピスの会活動日誌 \*\*\*\*\*

2013年4月～6月

- 4月 6日 ホスピス通信発送作業  
..... (盛岡市総合福祉センター、10名)
- 4月 13日 タオル帽子倶楽部～第2回役員会  
..... (盛岡市総合福祉センター、17名)
- 5月 5日 被災地支援活動  
(福島県南相馬市寺内第2仮設住宅集会所、3名)
- 5月 11日 タオル帽子講習会・倶楽部  
..... (総合福祉センター、19名)
- 5月 18日 ホスピスセミナー  
..... (総合福祉センター、30名)
- 5月 19日 内野株式会社で新企画打ち合わせ  
..... (東京・内野株式会社、2名)



福島県南相馬市・寺内第2仮設住宅集会所にて

- 5月 25日 倉庫作業 ..... (盛岡市タオル帽子倉庫、12名)
- 5月 28日 盛岡友愛病院訪問、緩和ケア病棟について懇談 ..... (盛岡友愛病院、2名)
- 6月 1日 全国がん診療拠点病院へのタオル帽子発送作業 ..... (総合福祉センター、30名)
- 6月 8日 タオル帽子倶楽部～第3回役員会 ..... (盛岡市総合福祉センター、29名)
- 6月 15日 倉庫作業 ..... (タオル帽子倉庫、10名)
- 6月 18日 青森県八戸市民病院からの依頼でタオル帽子100個を寄贈 ..... (同院、3名)
- 6月 22日 岩手医科大学がん患者家族サロンボランティアセミナー参加 ..... (岩手医科大学、4名)
- 6月 29日 倉庫作業 ..... (タオル帽子倉庫、8名)

## 新年度会費の納入をお願いいたします。

岩手ホスピスの会は皆さんの会費により運営されております。2013年度会費(2013年1月～2013年12月分)を郵便局にて、振込用紙に住所、氏名を明記の上振込をお願いいたします。なお、行き違いですでお支払いいただいております折は、なにとぞご容赦ください。また、ご住所の変更があった方はお手数ですがご連絡をお願いします。

会費：1,000円(複数口可) 郵便振替：02250-1-60580 岩手ホスピスの会